

shab◎n・shingo-kunのマニアな深いお話

第15回 新たに広がった輪...

shab◎n・shingo-kunが綴るshab◎nの裏側マニアな話！

メインはコダワリの音響関係の話に始まり、多岐に渡る気になる人には気になる話をネットの誌面で語り尽くします(^▽^)

さてさて新年2016年最初のコラムです！

公開時はクリスマス前で、かろうじて2015年ですが、皆さん！新年明けましておめでとうございませう！

2016年もますますマニア道を邁進していきますのでどうぞよろしくお祈りします！

マニアと言えば、今年新たにfacebookページに“0ta倶楽部”と言うページを立ち上げ、またshab◎nの公式サイト内にも“こだわり～shab◎nを創るモノたち”ってコーナーができました。コラムで紹介する内容を新たに紹介していくページとして、今後充実させたいと思っています。

今回のコラムはマニア、オタクであると自覚することによって、新たに広がった輪のお話し...

shingo-kunは音響機材と音響のマニアであります。広がったお付き合いに鉄道、遺跡(古代史)、アナログカメラ等々のマニアックな方々がいます...

根っこに共通のものを感じるのが特徴で、要は“好き”なんじゃないって事です。

鉄道関連は“鉄”と呼ばれ、撮り鉄、乗り鉄等細かく分類されるようです。キッカケは以前も紹介した鉄道模型のジオラマ(写真①)...

全てのパーツが自作なのはモチロン、縮尺等関連部分の構造等、詳細な検証に基づいているそうです。



ちなみにこの方の自宅には、ジオラマのため2部屋占めてるそうです...

興味の無い方にとってはどうでも良い事がマニアにとっては重要なんですね...

この模型(写真③)は古代遺跡のジオラマが取り入れられていて、岡山はかつて邪馬台国があり卑弥呼がいた...という事も盛り込まれています。

興味ある事をトコトン掘り下げる...、マニアの素晴らしいパワーと感服した次第です。

決して高価を自慢するのではなく、当人にとっては単純に必要な事なんでしょうね。

マニアな方々との交流は従来とは違った層との交流となり、以前とは違った場所、機会での演奏に繋がっています。

shab◎nは活動当初からライブハウスではなく、日頃ライブをやっていない場所で〇〇等の事を掲げて活動してきましたが、2015年は新アルバム“オトノワ”の完成を始め、手応えを実感できた一年でした。特に春先5月には、アースデイ岡山でオープニングをアカベラで飾ることができたのも自分達の中では印象深い事でした。(写真②)



折しもドラマでは“下町ロケット”が高視聴率だとか...。毎回楽しい番組ですが、この番組の底力にあるのはある意味、極めし技術の強さ...。つまりマニアである事が技術力に繋がる強さが描かれている気がします。特に終盤はアメリカ対日本の文化、考え方の違いが競い合っているのが面白いと思います。

なんにしてもマニアである事の素晴らしさを実感できた今年でした！

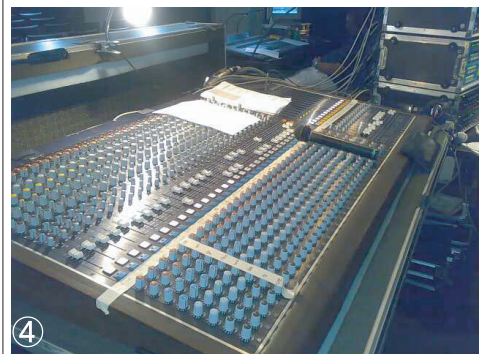
日本の景気回復のポイントはマニアの踏ん張り...コレですね！

音響の仕事は我ながら長くやっていますが、おかげで色んな経験に結びついたし、逆に挫折もたくさんありました。でも挫折こそ、大きな大切な経験となって今に繋がっていると思います。

よく思うのですが、何でも受ければ良いのか？ただ高いものをありがたがっても良いのか？

見極めることができるのはたくさん経験した挫折...に間違いありません。

経験の中を行き来して自分が納得できるものを選ぶ...、shingo-kunの音響における最も大きなポイントです...



卓はやはりアナログ卓がベスト！(写真④)



PROFILE shingo-kun

8月21日、広島県三原市生まれ

岡山在住、0型 音響エンジニア

ポップユニットshab◎n(シャボン)のメンバー

世界でも稀なMCで、喋るサウンドエンジニア

毎月10日更新！

RadioCamnet channel-H

shab◎n・marikoの

「shab◎n-ism Hour to World

(シャボニズムアワー)」

shab◎n公式サイト開設

jaja-shabon.net